

2019 年度新潟県栄養士会福祉事業部研修報告

*日時 西暦 2019 年 5 月 25 日 (土) 10 時 00 分～15 時 50 分

*会場 新潟ユニゾンプラザ 4 階 大会議室

*参加者 51 名

*講義及び演習テーマ

- ①公益社団法人新潟県栄養士会 専門職倫理の誓について
- ②食事形態について
- ③食を支える口腔の機能と管理の実際～福祉の現場で役立つ口腔の知識～
- ④食形態一覧について

*講義及び演習の目的

- ①「公益社団法人新潟県栄養士会 専門職倫理の誓」の見直しを図る。
- ②「食事形態」の決定者、参考にするもの、着眼点の 3 点について施設間で情報交換や共有を図る。
- ③摂食・嚥下動作への理解、口腔ケアの重要性について理解を深める。
- ④新潟県中央区の取り組みとその活用方法について理解し、参加者の資質向上を図る。

*研修内容

①公益社団法人新潟県栄養士会 専門職倫理の誓について

各グループに分かれ読み合わせ、変更、修正箇所等について意見交換を行った。

②食事形態について

1. 誰が決定するのか 2. 参考にするもの 3. 着眼点を各グループ内で話し合い、情報交換や共有を図った。

【意見として上がった事項】

1. …他職種、歯科衛生士、言語聴覚士、医師
2. …施設独自、嚥下調整食学会分類 2013
3. …食べ方、本人の意向、嚥下状態、口腔内残渣、食事量の減少、安全性、体調、時間、摂取状況、嗜好、早食い、本人が幸せかどうか、咀嚼・義歯の状態 等

③食を支える口腔の機能と管理の実際～福祉の現場で役立つ口腔の知識～

講師：日本歯科大学の田中彰先生

口腔、嚥下内の機能や働き、口腔ケアの重要性、サルコペニア対策、口腔機能向上訓練、誤嚥等についての。

④食形態一覧について

講師：みどり病院 管理栄養士 石月公美子先生

「にいがた市 施設・病院の食事形態」について、作成内容や作成のきっかけ、現状、嚥下調整食学会分類 2013、活用方法等について

*当日のアンケートには、参加された皆様からたくさんの意見をいただきました。

①専門職倫理について

・専門倫理を読む機会を持ち、栄養士としての心構えを学ぶことができた。規定についてじっくり読む機会がないので参考になった。

②食事形態について

・他施設の状況を聞くことができ良かった。参考になった。情報交換ができて良い刺激になった。
・障害者施設は老人施設に比べると相談できる横のつながりが薄いように感じた。

③「食を支える口腔の機能と管理の実際」講義について

・口腔ケアの必要性・重要性を再確認できた。
・口腔機能と摂食・嚥下機能の関わり、誤嚥性肺炎のリスクを学ぶことができた。
・歯科においても今後ますます在宅ケアの取り組みが重要になることを知ることができた。
・入所者様の口腔内の状況や舌の動きにも注意して食事の様子を見ていきたいと思った。

④「食形態一覧について」講義について

・中央区の取り組みについて、肉・魚・副食とそれぞれの食事形態が記載され、トロミや水分補給の方法、経管栄養の種類まで記載されており、栄養に関する内容が網羅されわかりやすくまとめられていた。
・完成までの流れがよくわかって、たいへん良かった。
・在宅ー施設ー病院等の食事の情報共有に活用できる良いものと思った。
・他施設でどのような形態で提供しているのかわかりやすく、入所後の情報共有に役立つと思う。
・とても大変な作業だったと思いますが、参考になる講義でした。 . . . 等

今回の研修を通して他施設での取り組みを知ることができ、施設でも食形態一覧の作成等できることから始めたいと思いました。また、口腔機能や口腔ケアは食べる上でとても重要ということを学んだので管理栄養士・栄養士として口の中をしっかりと観察し、多職種連携しながら口腔ケアや口腔内の管理を行いたいと思いました。

(文責：野上千寿子)

